

視察研修・研修会等報告書

議席番号〔 14 〕 議員名〔 中 島 達 也 〕

1 年 月 日	令和6年8月8日(木)～9日(金) (日数1泊2日)
2 場 所	新潟県十日町市 十日町市役所 他
3 視察・研修事項	大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2024
4 面 接 者	十日町市文化観光課 齋喜課長、山岸課長補佐 他 NPO 法人 越後妻有里山協働機構 原事務局長
5 視察研修、研修会の成果	【序文】 今秋、清流の国、文化祭2024に併せ、健康増進センターで南飛驒アートディスカバリーが開催されます。我々議員は有志でアート作品の聖地である「大地の芸術祭」が開催されている新潟県越後妻有アートトリエンナーレ2024を視察する機会を得た。箱物ではなく自然が広がる広大な土地に数々のアート作品が点在している。長く続ける為に計り知れないエネルギーが投入されたことだろうか。驚異と敬意の想いだ。「継続は力なり」改めて感じ入る。この度「越後妻有里山協働機構」の原事務局長の案内により効率的に視察ができ心より感謝申し上げたい。 【考察】 地元四美地区において、先祖代々の貴重な田畑、山林を提供して頂き事業化された県の健康増進センターの運営に長年活路が見いだせない状況にあったと思います。県が施設を下呂市に「丸投げ」の動きがあったように聞いており、県の理不尽なやり方に憤りを感じていました。市長自ら古田知事に直言してから県の対応に変化がみられ、「清流の国文化祭2024」に伴い、当地で「南飛驒アートディスカバリー」が企画された。この背景には古田知事の県の責任としての意識が大きく働いたものと確信しています。そのことは、総合ディレクターとして北川フラム氏を招聘されたことに尽きると思います。北川氏は美濃・飛驒の結節点として当地を「日本の最深部」と位置づけ美術で歓待する企画を練り上げられました。 この企画を一過性に終わらせることなく、自然の中を散策しながらアート作品を鑑賞し、食、温泉を愉しみ、地域の人たちと交流を通じて魅力あるエリアとして発展することを願ってやまない。今後、誰がやるのか、財源をどうするのか、議論が必要です。地元のご理解、協力は不可欠です。 まずは「南飛驒アートディスカバリー」を成功させなければならない。